



1月10日

下野市政がスタート

平成15年12月、南河内町・石橋町・国分寺町合併協議会を発足し、合併に向け本格的に取り組んできた3町がいよいよ合併。平成18年1月10日、住民の皆さまの厚い期待のもと「下野市」がついにスタートしました。

■開庁式典

1月10日、南河内町、石橋町、国分寺町の3町が合併し、「下野市」が誕生しました。

この日午前8時から、下野市役所国分寺庁舎において、市議会議員や市職員が出席して、開庁式典が行われました。

式典では、はじめに宇賀持正紀市長職務執行者が「下野市は自然や地理的環境に恵まれ、また歴史や文化的伝統もあり、他に誇れる素晴らしい地域です。この恵まれた地域資源を存分に活用し、市民一人ひとりが生き生きと暮らせるまちづくりを進めなければなりません」と式辞を述べました。式辞に続き庁舎銘板の



除幕が行われると、出席者から大きな拍手が巻き起こりました。

その後、市旗の掲揚が行われ、新市の門出を祝いました。

また、南河内、石橋庁舎では、同時刻に序幕式が行われ、市職員が見守る中、銘板の除幕や市旗の掲揚が行われるとともに、石橋庁舎で午前9時から、南河内庁舎で午前10時からそれぞれ開庁式が行われました。

各庁舎では、8時30分から新市の業務がスタートし、窓口にはさっそく多くの方が住民票の交付や各種届出に訪れました。